

長野県外国人政策検討懇談会（第1回）

【次第】

令和7年（2025年）6月6日

第1回長野県外国人政策検討懇談会 次第

日時：令和7年6月6日（金） 10:30～12:30

場所：県庁特別会議室

1 開会

2 挨拶

3 構成員自己紹介

4 会議事項

(1) 長野県における在住外国人の状況並びに多文化共生施策及び外国人材受入施策の取組状況について

- ・県内の在住外国人の状況及び多文化共生施策の取組状況【資料1】

- ・県内の外国人労働者の状況及び外国人材受入施策の取組状況【資料2】

(2) 外国人材の受入れや外国人との共生についての県の将来像及び課題について【資料3】

(3) 意見交換・質疑

【第1回懇談会の主な目的・論点】

⇒外国人の受入れや外国人との共生についての県の将来像及び課題について、県としての現時点での考えを示した上で、以下の点について、構成員の皆様のご意見を伺う。

- ①外国人の受入れや外国人との共生について構成員の皆様が考える将来像

- ②その将来像に向けての課題は何か。

- ③上記の課題解決のために、県や国、市町村、企業、地域等は特にどのようなことに取り組むべきか。

5 閉会

長野県の外国人政策の進め方

長野県外国人政策検討懇談会【有識者等による議論】

【目的】

- 有識者等による懇談会を設置することにより、外国人を含むすべての県民が地域社会の一員として等しく活躍できる社会づくりを進めるため、**外国人材の受入れや外国人との共生、外国人に関する諸課題など本県の外国人政策の方向性について議論し、県の施策に反映**
- 全国的な対応を要する事項については、国へ要望・提言

【論点】

- 県はどのような将来像をもって外国人の受入や外国人との共生の環境を整えていくべきか。
- その将来像に向けての課題は何か。
- 上記の課題解決のため、県や国、市町村、企業、地域等はどういうことに取り組むべきか。

【有識者等】 10人

【主な検討テーマ等】

- 第1回「外国人の受入れや外国人との共生についての県の将来像及び課題」
- 第2回（8月）、第3回（9月）、第4回（12月）
第1回の意見を踏まえ、論点を整理して各回のテーマを設定



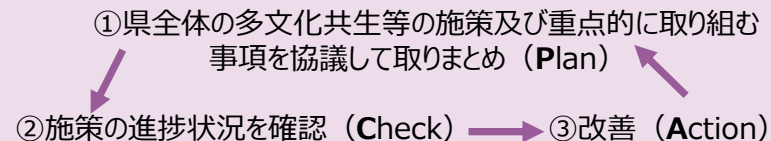
キャッチボールをしながら本県の外国人政策を推進

長野県多文化共生推進本部（仮称）【県の推進体制】

【目的】

- 知事部局、県教委から構成する県推進本部を設置することにより、**県内に暮らす外国人との多文化共生や外国人材の受入れに関する現状及び課題についての情報を共有するとともに、部局間連携を強化して課題の解決を目指す。**

本部長：知事、副本部長：副知事
構成員：庁内関係部局長及び教育長
オブザーバー：地域振興局長等



【ワーキング・グループの設置】

複数部局に関連する検討内容についてWGを設置し、施策を個別に検討

①多文化共生WG

（日本語教育、多言語対応、生活相談、子育て・子ども・若者支援、医療、福祉、住居、防災、ゴミの出し方等）

②外国人材受入WG

受入の促進、働きやすい就労環境の整備、職場内共生の推進等

③外国人児童生徒等教育WG

小・中学校、高等学校における課題への対応等

長野県外国人政策検討懇談会 構成員一覧

※50音順、敬称略

氏 名	役職等名
安部 宏美	地球人ネットワーク in こまがね 事務局
内川 小百合	学校法人秋桜会 丸の内ビジネス専門学校 理事長・校長
久保田 敏之	長野電鉄株式会社 代表取締役社長
グエン・ハー・チュイ	長野県ベトナム人協会副会長 在日ベトナム女性協会長野支部会長
小林 美智子	飯田市市民協働環境部共生・共働推進課長
佐藤 友則	信州大学グローバル化推進センター 教授 NPO法人 中信多文化共生ネットワーク 理事長
佃 芳典	信州ハム株式会社 執行役員 総務部長
安井 誠	合同会社日本社会設計 代表
山脇 啓造	明治大学国際日本学部 教授 【座長】
横尾 光輔	株式会社日本政策金融公庫 特別参与

以上10名